

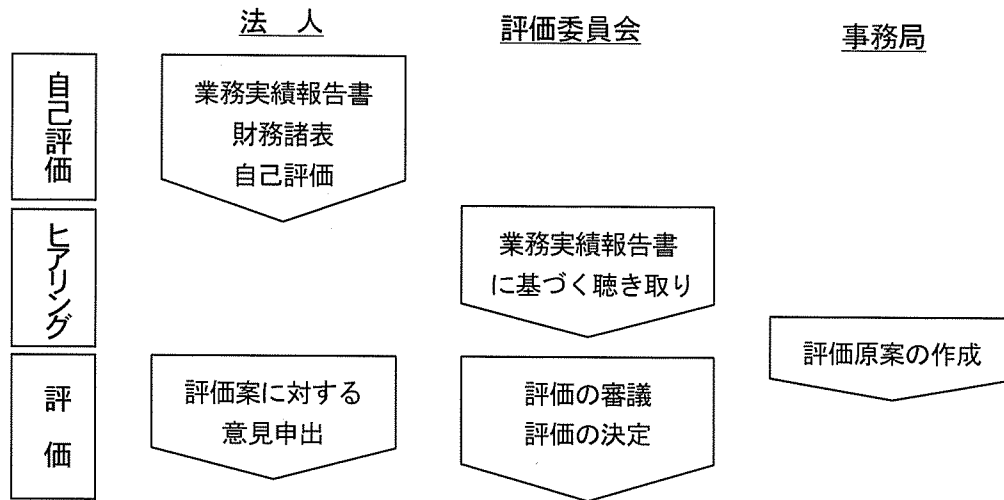
公立大学法人鳥取環境大学の年度業務実績評価方法について

1 評価の基本的考え方

評価は、単に業務実績を検証・評価することとまらない次の改善につながる評価とする。

事業計画の立案、事業の実施、業務遂行上改善すべき事項の洗い出し、改善のための方策の検証・評価、改善の実施状況の検証・評価など、公立大学法人の業務実施体制の持続的改善を可能とするPDCAサイクルのチェック機能を担う。

2 評価手順



3 評価方法

年度評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、項目別評価と全体評価により実施する。

○教育評価

○法人の自己評価の基準

○項目別評価

法人の自己評価を踏まえ、業務実績について法人からのヒアリングなどを通じて検証し、事業の進捗状況及び成果等について項目ごとに5段階で評価する。

○全体評価

項目別評価を踏まえ、法人の中期計画の大項目ごとに進捗状況について5段階で評価するとともに全体的な進捗状況及び評価の視点について総合的に記述式により評価する。

4 評価の進め方

事項	時期	業務内容等
年度終了	3月末	年度事業の終了 (法人)
評価準備	4月～6月	業務実績報告書、財務諸表等作成 (法人)
実績報告	6月末	業務実績報告書、財務諸表等提出 (法人) 年度終了後3ヶ月以内提出
評価	7月～8月	業務実績、財務諸表検証 (法人とのヒアリング) 評価結果 (案) の作成 (法人による事実確認) 評価結果の決定 (委員会)
報告・公表	9月	評価結果の知事・市長への報告及び法人への通知 財務諸表への意見表明、財務諸表承認 議会報告 (評価結果報告) 及び公表